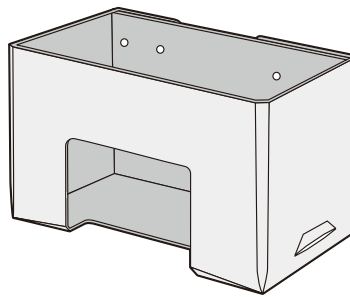


# オオサキPPEホルダー プラ 2614T 1個入

エプロン袖付用

## 取扱説明書



JANコード 品番 74627



GS1-128



(01) 0 4971032 74627 2

< 内容物 > ● 本体 …… 1個

< 別売 >

①- (A) マグネット 標準磁カタイプ (品番57059) …… 2個



(B) マグネット 強磁カタイプ (品番74613) …… 2個



② 壁付ネジ (品番74614) …… 4本



③ スチールプレート (品番57060) …… 1枚



### 組み合わせ方

- 壁への取り付けは①または②のどちらかが必要です。
- さらに③を組み合わせると、本体をまとめて設置できます。

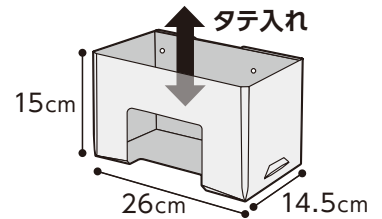
※ 設置対象物に合わせて磁力の種類を選んでください。

(ネジ4本・アンカー4個)  
※ 「②壁付ネジ」は本体2個分に使用できます。  
(本体1個に使用するネジは2本です。)

※ 別売の「②壁付ネジ」が2袋必要です。  
(プレート1枚に使用するネジは6本です。)  
※ ①と併用する際は「②強磁カタイプ」を推奨します。

< 内寸法 >

- 幅26cm × 高さ15cm × 奥行14.5cm (このサイズより小さい商品が入ります。)



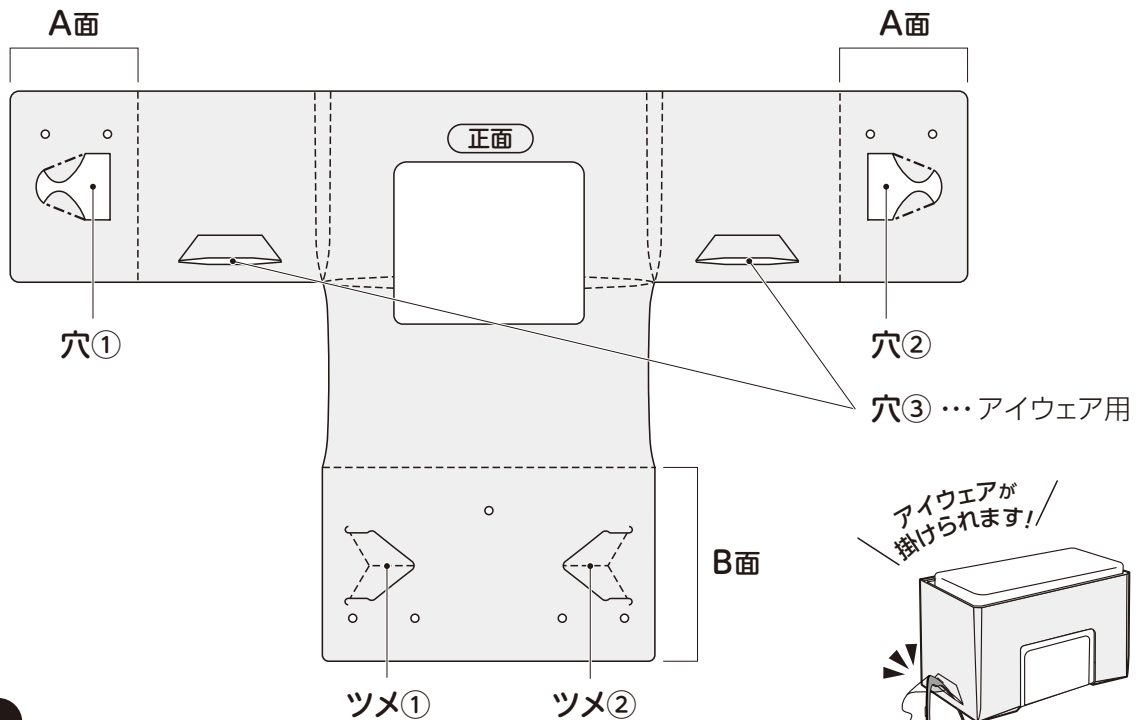
山折り



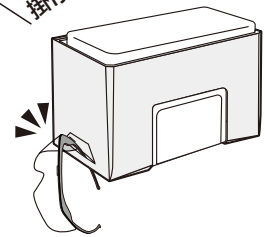
谷折り



### 展開図

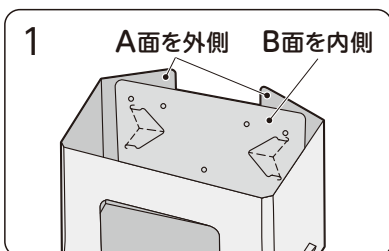


アイウェアが  
掛けられます!!

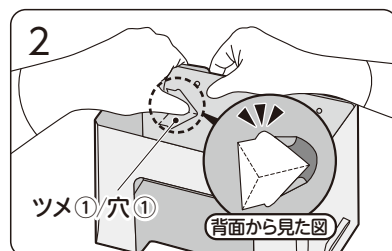


### 組み立て方

- 展開図の折り線に沿ってあらかじめ折り目を入れると、組み立てやすくなります。
- 組み立ての際は手袋などで手を保護し、ケガをしないよう注意してください。



展開図の向きに開き、A面を外側、B面を内側にして重ねます。



正面から指で「ツメ①」を「穴①」に押し込みます。(「ツメ①」が背面から飛び出すまで押してください。)同様に、「ツメ②」を「穴②」に押し込みます。



使用方法

日本製

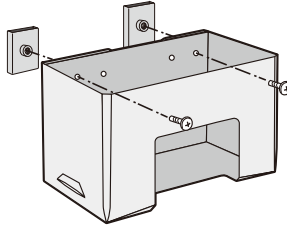
145007-02  
W290×H325×D40

**Osaki**  
オオサキメディカル株式会社  
名古屋市西区玉池町203番地 〒452-0812  
<https://www.osakimedical.co.jp/>  
お客様相談室 0120-15-0039  
受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

取り付け方は裏面にあります。>>>

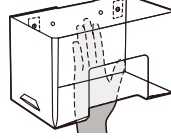
## 取り付け方

### 【①マグネット】で固定



正面内側からネジを通し、背面からマグネットをドライバーで回し締めしてください。

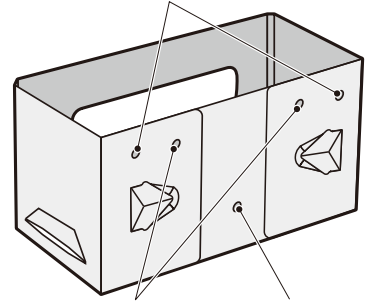
#### 〈ホルダーの外し方〉



ホルダーと壁の隙間に手を入れ、手のひら全体でホルダーを手前に引っ張って外してください。  
※磁力が強いため、無理に引っ張るとホルダーが破損する恐れがあります。

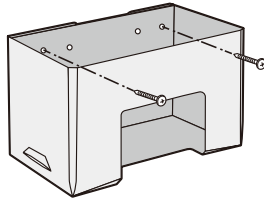
## 取り付け穴(背面)

### ①マグネット/②壁付ネジ



設置場所が狭い場合など、外側の穴が使用できない場合に使用します。  
磁力が足りない場合にマグネットを追加で使用します。

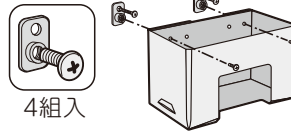
### 【②壁付ネジ】で固定



壁にネジを仮留めし、水平な位置を確認した後、ネジを増し締めします。

この用紙左部の⊕印を、仮留め位置の目安にできます。  
(用紙を横向きにしてください。)

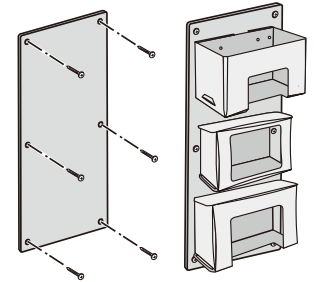
#### 〈別売「壁付ボルト・ナットプレート」の併用〉



4組入

「壁付ボルト・ナットプレート(別売)」(品番57058)を併用すると、壁に取り付けたネジを外すことなくホルダーの交換ができるため、壁を痛めにくくなります。

### 【③スチールプレート】で設置



スチールプレートをネジで壁に留めます。マグネットの付いたホルダーをスチールプレートに取り付けます。

【②壁付ネジ】で取り付ける場合は、この印を仮留め位置の目安にしてください。

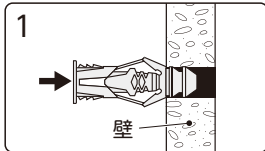
(「用紙上部からネジ穴までの高さ」と「2本のネジ穴の距離」が実際のPPEホルダーと同じになっています。)

設置場所が狭い場合など、外側の穴が使用できない場合に使用してください。

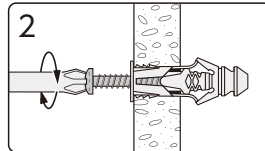
#### 〈アンカー使用方法〉



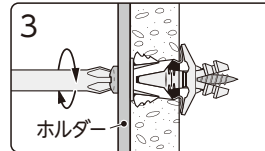
直接ネジを締め付けることができない壁(石膏ボードが張ってある中空構造の壁など)にはアンカーを使用してください。



ドリルなどであらかじめ壁に6mmの下穴を空け、アンカーを差し込みます。入りにくい場合はハンマーで軽く叩いてください(無理に叩くと壁が割れる場合があります)。



ネジをアンカーに途中まで差し込んだ後、PPEホルダーを挟んで一緒に締め付けてください(インパクトドライバーを使用する際は、低速で確認しながら取り付けてください)。



頭部までネジが入った後、さらにネジを5回転(目安)させてください。

#### アンカー仕様

〈ドリル径〉  
6.0mm

〈最大引抜強度(石膏ボード)〉  
・ 9.5mm厚ボード...16kgf  
・ 12.5mm厚ボード...23kgf  
・ 15.0mm厚ボード...32kgf  
※適応壁厚8.5mm以上

〈対応可能な壁の種類〉  
・ 石膏ボード  
・ コンクリート  
・ ALC板  
・ 木材

#### 〈使用上の注意〉

- PPEホルダー以外の目的で使用しないでください。
- 組み立ての際は手袋などで手を保護し、ケガをしないよう注意してください。
- 取り付け場所の強度・状態などを確認の上、設置してください。
- 素材の性質上、折り曲げた際に白濁することがありますが、製品強度への影響はありません。
- 変形の原因になりやすいため、高温や直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 本体が破損する恐れがあるため、ネジを強く締め過ぎないでください。
- 本体にひび割れなどが発生した場合は、新しい物と取り替えてください。
- アイウェアをホルダーに掛けている場合は、落下を防ぐため、取り外してからPPEの箱を交換してください。

#### 〈【①マグネット】使用上の注意〉

- マグネットを使用する場合は、磁気の影響を受けやすい機器などの近くに設置しないでください。

- マグネット同士を近づけないでください。また、マグネット単体を壁などに付けしないでください。磁力が強力なため、ひび割れや離せなくなる恐れがあります。

#### 〈【②壁付ネジ】使用上の注意〉

- 工具を使用する際はケガをしないよう注意し、必要に応じて安全防護具を着用してください。
- 壁内の配線や配管に注意して取り付けてください。
- コンクリート、ALC板、木材などの硬質壁に使用する際は、5%程度大きく下穴を開けて使用してください。
- 安全荷重は、最大引き抜き強度の1/4以下を目安としてください。
- 引抜強度は壁の種類や強度及び施工条件に大きく影響されます。
- インパクトドライバーを使用する際は、低速で確認しながら取り付けてください。
- 壁を破損する恐れがあるため、必ずPPEホルダーと一緒に締め付けをしてください。